

4 本時の展開（本時 4 / 6 ）

(1) 本時の目標

- A児・B児・C児：自分の宝物はどのようなものか、それについて自分はどう思っているかなど、話の組み立てを考えることができる。
【国語科第1学年及び第2学年 話すこと 聞くことイ】
- D児：紹介する宝物について、宝物の理由を挙げて筋道を立てて話す内容を構成している。
【国語科第3学年及び第4学年 話すこと 聞くことイ】
- E児：紹介する宝物のよさが伝わるように、宝物である理由を説明したり、エピソードを入れたりして話の構成を工夫している。
【国語科第5学年及び第6学年 話すこと 聞くことイ】

(2) 本時の展開

学習活動	・指導上の留意点 ○評価規準 (◆「努力を要する」状況と判断される児童生徒への手立て)					(評価方法)
	A児	B児	C児	D児	E児	
つかむ 1 本時のめあてを確認する。	○教師のモデルを見て宝物紹介の仕方について確認し、宝物紹介に対する意欲を高めていく。 宝物カードをもとにじぶんの宝物をしょうかいするぶんしょうをつくろう。					児童観察
	・先生と一緒に ・くわしく	・先生と一緒に ・くわしく	・先生と一緒に ・くわしく	・くわしく ・じゅんじょよく	・ひとりで ・アドバイス ・質問	
考える 2 自分の紹介したい宝物を考える。 (1) 自分で考える。 ・友だちの質問を参考に書きたいことを選ぶ。 (2) 質問カードに詳しく書き出す。 (3) 「始め」「中」「終わり」の文を書く。 ワークシートを使ってまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書いた宝物の絵を見せ、みんなが知りたいことを聞き合う場を設定する。 ◆個別指導のために実物や写真を用意する。 					ワークシート
深める	<ul style="list-style-type: none"> ・いろ ・かたち ・おおきさ ・おもさ ・だれから ・どんなところ ・なぜ ・おもいで ・いつから ・どこが ・どれくらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろ ・かたち ・おおきさ ・おもさ ・だれから ・どんなところ ・なぜ ・おもいで ・いつから ・どこが ・どれくらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろ ・かたち ・おおきさ ・おもさ ・だれから ・どんなところ ・なぜ ・おもいで ・いつから ・どこが ・どれくらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろ ・かたち ・おおきさ ・おもさ ・だれから ・どんなところ ・なぜ ・おもいで ・いつから ・どこが ・どれくらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校時代の宝物の思い出 ・ようす ・いつ ・どこで ・だれと ・なぜ ・ひみつ 	
全体での交流をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・話形に沿って文章を書かせる。 ◆個別のワークシートを用意する。 「はじめ」・宝物はなに 「中」 ・宝物の特徴 「おわり」・これからどうしたいか ・みんなへ ○自分の宝物はどのようなものか、それについて自分はどう思っているかなど、話の組み立てを考えている。 ○紹介する宝物について、宝物の理由を挙げて筋道を立てて話す内容を構成している。 ○紹介する宝物のよさが伝わるように、宝物である理由を説明したり、エピソードを入れたりして話の構成を工夫している。 					
まとめる 4 振り返りをし、次時へ の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの前で作った文章を読ませる。 ・質問カードの事柄が入っているかを考えながら聞くようにする。 					児童観察
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> まとめの例 ○ぼくのたからものは、○○○です。そのわけは、○○だからです ○これからも○○○○したいです。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 振り返りの例 ・どんなたからものかよくわかった。 ・くわしくかいているのでよくわかった。 ・自分のめあてができた。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの前で自己紹介することへの意欲をもたせる。 					